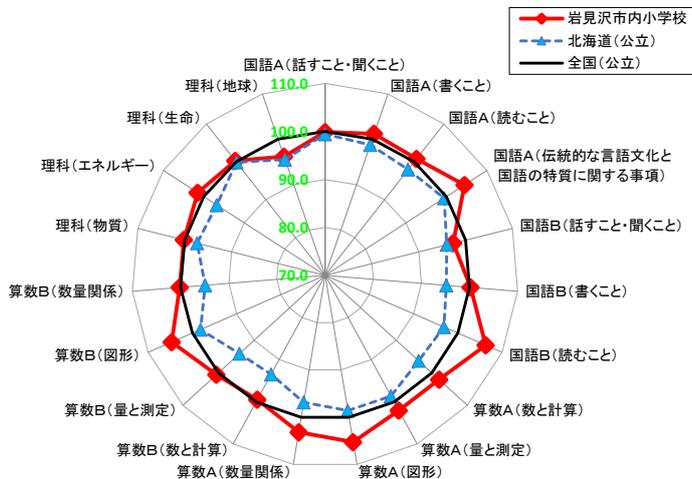


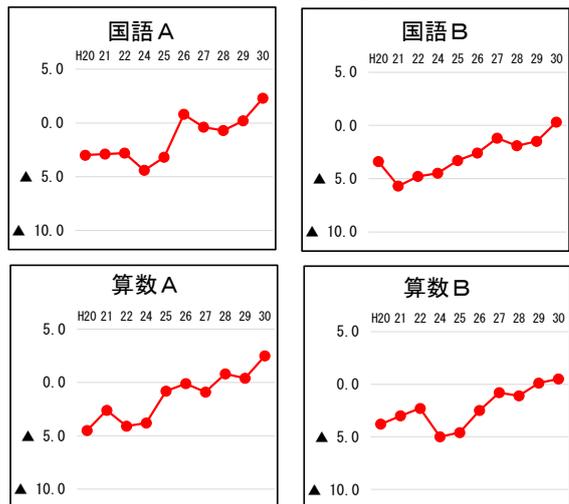
■岩見沢市内小学校の状況及び学力向上策(学校数:14校、児童数:604人)

【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【平均正答率の全国との差の推移】

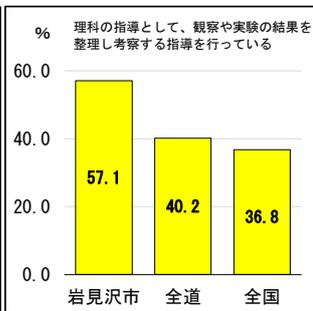
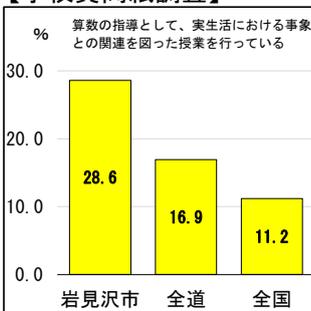


※「平均正答率-全国(公立)の平均正答率」の差の経年変化

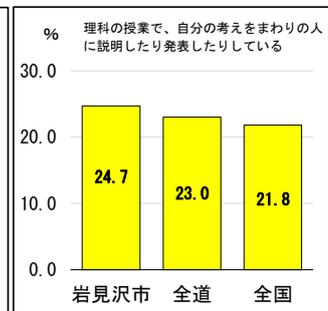
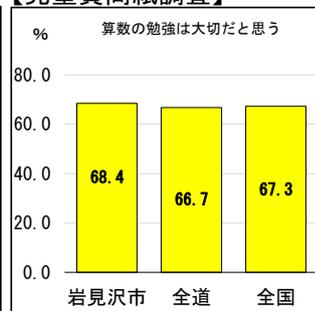
<平均正答率>

国語A	国語B	算数A	算数B	理科
73	55	66	52	60

【学校質問紙調査】



【児童質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語Aでは、「書くこと」「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、Bでは、「書くこと」「読むこと」で全国を上回っている。 ○ 算数Aでは、全ての領域、Bでは、「量と測定」「図形」「数量関係」で全国を上回っている。 ○ 理科では、「物質」「エネルギー」「生命」で全国を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 算数の指導として、実生活における事象との関連を図った授業を行った結果、算数の勉強は大切だと回答した児童の割合が、全国を上回ったと考えられる。 ○ 理科の指導として、観察や実験の結果を整理し考察する指導を行った結果、自分の考えをまわりの人に説明したり発表したりしている児童の割合が、全国及び全道を上回ったと考えられる。
児童質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「算数の勉強は大切だ」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。 ○ 「理科の授業で、自分の考えをまわりの人に説明したり発表したりしている」と回答した児童の割合が、全国及び全道を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「教えて考えさせる」授業の導入や教職員の実践的指導力の向上を図る研修機会を充実した結果、日常の授業改善が図られ、国語A・B、算数A・Bで全国を上回ったと考えられる。
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「算数の指導として、実生活における事象との関連を図った授業を行っている」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「理科の指導として、観察や実験の結果を整理し考察する指導を行っている」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 	

【岩見沢市の学力向上策】

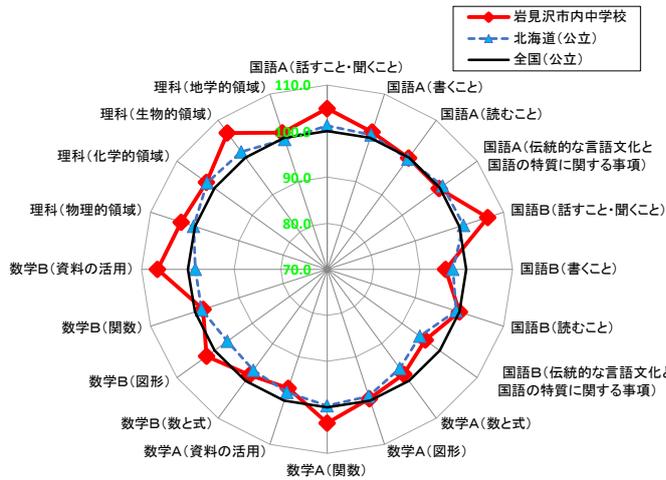
- ◎ 全ての小・中学校における「教えて考えさせる」授業の導入
- ◎ 学校が企画する学力向上策等を支援する「子どもがかがやく学校活動支援事業」の実施
- ◎ 大学の教員による出前授業や協力授業など、北海道教育大学と連携した教育活動の推進
- ◎ 教職員の実践的指導力の向上を図る教育研究所等と連携した各種研修の実施
- ◎ 学校が自主的に行う公開研究会を支援する「授業づくりのまち岩見沢」の実施
- ◎ 学びの連続性を踏まえた中学校区別学力向上小中連携研修の開催
- ◎ 全国学力・学習状況調査の結果の市民への数値での公表、市内全教員への岩見沢市の調査結果概要版の配付
- ◎ 授業スタイル、学習習慣、教室環境等の統一を図り、組織的な学校運営を進める学校力向上の取組の全校での実施
- ◎ 放課後及び長期休業期間等における補充的な学習サポートの実施
- ◎ 教育研究所の部会研究と研究指定校を連動させた授業改善を図る実践研究の実施

■岩見沢市内中学校の状況及び学力向上策(学校数:10校、生徒数:623人)

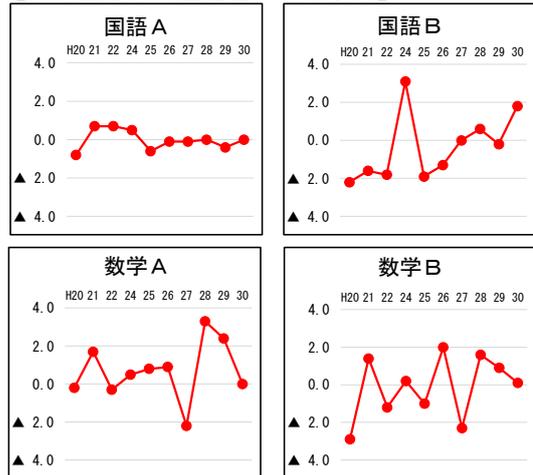
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【平均正答率の全国との差の推移】

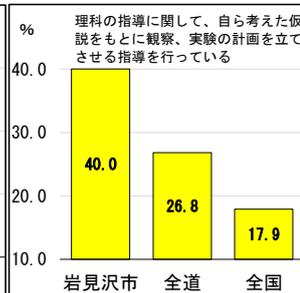
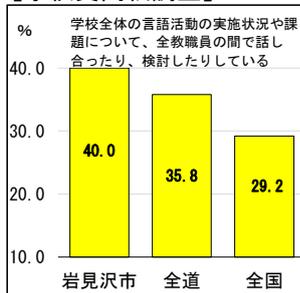


※「平均正答率-全国(公立)の平均正答率」の差の経年変化

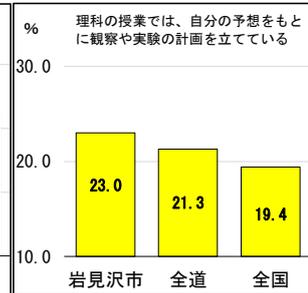
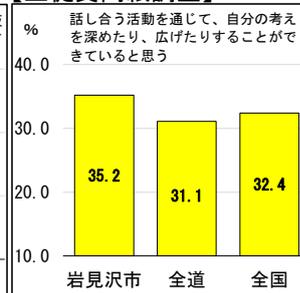
<平均正答率>

国語A	国語B	数学A	数学B	理科
76	63	66	47	68

【学校質問紙調査】



【生徒質問紙調査】



【分析】

教科	分析内容
国語	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語Aでは、「話すこと・聞くこと」「書くこと」、Bでは、「話すこと・聞くこと」で全国及び全道を上回っている。 ○ 数学Aでは、「関数」、Bでは、「図形」「資料の活用」で全国を上回っている。 ○ 理科では、全ての領域で全国及び全道を上回っている。
生徒質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりできている」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。 ○ 「理科の授業では、自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てている」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「学校全体の言語活動の実施状況や課題について、全教職員の間で話し合ったり、検討したりしている」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「理科の指導に関して、自ら考えた仮説をもとに観察、実験の計画を立てさせる指導を行っている」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。

【岩見沢市の学力向上策】

- ◎ 全ての小・中学校における「教えて考えさせる」授業の導入
- ◎ 学校が企画する学力向上策等を支援する「子どもががやく学校活動支援事業」の実施
- ◎ 大学の教員による出前授業や協力授業など、北海道教育大学と連携した教育活動の推進
- ◎ 教職員の実践的指導力の向上を図る教育研究所等と連携した各種研修の実施
- ◎ 学校が自主的に行う公開研究会を支援する「授業づくりのまち岩見沢」の実施
- ◎ 学びの連続性を踏まえた中学校区別学力向上小中連携研修の開催
- ◎ 全国学力・学習状況調査の結果の市民への数値での公表、市内全教員への岩見沢市の調査結果概要版の配付
- ◎ 授業スタイル、学習習慣、教室環境等の統一を図り、組織的な学校運営を進める学校力向上の取組の全校での実施
- ◎ 放課後及び長期休業期間等における補足的な学習サポートの実施
- ◎ 教育研究所の部会研究と研究指定校を連動させた授業改善を図る実践研究の実施